# **講演会**

**テーマ：東アジア共同体と上海協力機構（SCO）**

**～アジア広域経済圏の観点から論ずる～**

**講師：中川　十郎　名古屋市立大学特任教授・日本ビジネスインテリジェンス協会理事長**

**日時：2013年6月5日（水）1300～1430**

**会場：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科　19号館　3階　314教室**

**主催：早稲田大学中華経済研究所**

**共催：早稲田大学大学院アジア太平洋研究センター東アジア地域研究部会**

**世話人：林華生　早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授**

**講師の略歴：名古屋市立大学特任教授。専門は国際貿易論、国際マーケテイング論、グローバルビジネス論、ビジネスインテリジェンス論。1992年より日本ビジネスインテリジェンス協会理事長。英文書“An Introduction to Information Strategy”（World Scientific 2013）**

**を共編して、20年間にわたるビジネスインテリジェンス研究の成果を英語圏に発信した。東京外国語大学イタリア学科国際関係専修課程を卒業後、商社に勤務、米国ニチメン・ニューヨーク開発担当副社長を経て、1992年愛知学院商学部助教授、教授。1998～2006年東京経済大学経営学流通マーケテイング学科教授。大学院経営学研究科教授。2002年米コロンビア大学経営大学院客員研究員。2011年より中国対外経済貿易大学亜州共同体研究院客員教授。2013年より名古屋市立大学22世紀研究所特任教授。この間、日本貿易学会理事、JETRO貿易アドバイザー、世界銀行グループ（CSR―企業の社会的責任）コンサルタント、オリンパス株式会社特別委員会委員などを経て、現在WTO(世界貿易機関)PSI紛争処理委員中国競争情報協会顧問、国際アジア共同体学会副理事長、日本ビジネスコミュニケーション学会顧問、工学院大学孔子学院中国・アジア研究所客員研究員。北東アジア研究交流ネット幹事、中国青島市商務部国際貿易顧問、中国国際貿易学会国際顧問。**

**講演の要旨：現在ASEANを中心とするAFTA(ASEAN自由貿易地域)、ASEAN+3(日中韓)、さらにASEAN＋６（日中韓、印、豪NZ）のRCEP（東アジア地域包括的経済連携）、TPP（環太平洋経済連携協定）などアジア太平洋を中心とするFTA(自由貿易協定)、EPA(経済連携協定)が重層的に動き出している。これに対し、まずアジア太平洋を中心とするASEANおよびRCEP構築に際しては、急速に経済発展しつつあるメコン諸国（タイ、ベトナム、カンボデイア、ラオス、ミャンマー）および近来エネルギー経済圏としても脚光を浴びている中国、ロシアを中心に形成されている中央アジアのASEANと目される上海協力機構（SCO－Shanghai　Cooperation Organization）の2経済圏をアジア太平洋のSub　Regionとしてアジア太平洋経済圏に取り込むことの重要性を強調したい。**

**＝来聴歓迎＝**